

市民公開講座 ～自然と科学の調和～

2016年3月26日(土) 13:15-17:00

同志社大学 京田辺キャンパス 恵道館3階301

参加無料 参加費がかりません。

申込不要 どなたもご参加いただけます。会場に直接お越し下さい。

入退場自由 講演間で出入り可能です。



13:30-14:20 日本の色を染める

(染司よしおか・五代自当主) 吉岡 幸雄
化学的なものを一切使用しないで植物より色素をくみ出すことで色を染める伝統的な仕事をしております。東大寺、石清水八幡宮など古社寺の行事での仕事を中心にお話しします。



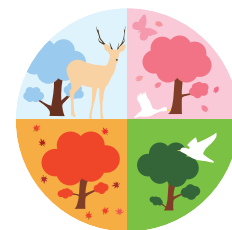
14:20-15:10 サントリー ワールド リサーチ センターにおける健康科学研究 ～新たな価値創造への挑戦～

(サントリーウエルネス) 紺谷 昌仙
2015年5月、けいはんな学研都市にサントリーの新しい研究開発拠点「サントリー ワールド リサーチセンター」が誕生しました。ここでは、研究者一人ひとりが「新たな価値創造」に向けて邁進しています。自然界の恵みを大切にしつつ、食文化・伝統を科学的に解明し、食を通じた健康長寿への貢献を目指しています。



15:20-16:10 大阪ガスの技術開発による 天然ガス普及および新規事業の展開

(大阪ガス) 松本 将英
大阪ガスは2015年で創業110周年を迎えました。都市ガスの用途は、ガス灯からスタートして燃料電池に至るまで、技術開発によって発展を図ってきました。当講演ではこれら技術開発の事例と、水素ステーションやスマートエネルギーネットワークなど、最新のトピックスについてご紹介いたします。



16:10-17:00 季節でめぐる日本列島の自然

(京都造形芸術大学・学長/京大・元総長) 尾池 和夫
日本列島は四季の変化に富む変動帯の大地です。プレートが押し合う列島では地震と噴火と津波が起こり、列島と大陸の間に最も若い海底が完成し、暖流が流れ込み豪雪地帯を作ります。季節は日本列島の自然、産物、生活を表し、歳時記は日本人の宝物です。その宝物を生み出した日本列島の生い立ちを地球科学の目で見つめます。

